

ブラジル金融政策（2021年8月）

インフレ懸念の更なる高まりを背景に、利上げペースが加速

2021年8月5日

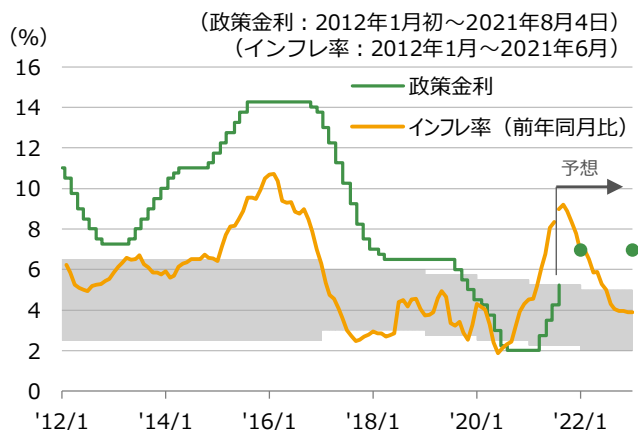
中立金利を上回る水準まで利上げを進めることが基本シナリオに

ブラジル中央銀行は8月3-4日（現地、以下同様）に金融政策決定会合を開催し、市場予想通り政策金利を4.25%から5.25%へ引き上げることを決定しました。同行は過去3会合連続で0.75%ポイントの利上げを決定し、前回6月会合の声明文では今会合でも同じ幅の利上げを示唆していました。しかし、経済活動再開に伴うサービス価格の上昇圧力、製造業における供給制約の継続、少雨によるダム貯水率低下を反映した電気料金の引き上げや食品価格の上昇リスクなど、様々な要因からインフレ懸念が一段と高まったことを受け、利上げ幅が1.00%ポイントに拡大されることになりました。

声明文では、次回9月21-22日の会合でも同じく1.00%ポイントの利上げを決定することが示唆されており、実現すれば政策金利は中立金利（6～6.5%）に到達することになります。もっとも、今年末時点の政策金利の市場予想はすでに7.00%まで切り上がっています。またブラジル中銀も、前回6月会合では「中立金利に向けて」利上げを進めることを基本シナリオとしていましたが、今回は「中立金利を上回る水準まで」利上げを進めることを基本シナリオとしています。そのため、少なくとも次々回10月26-27日の会合までは利上げサイクルが継続され、その時点で政策金利が中立金利を上回る可能性が高そうです。

こうしたブラジル中銀の積極的な利上げ姿勢はブラジル・レアルの下支え要因として機能しており、また中立金利を上回る水準まで利上げされれば、高金利通貨としての魅力が一層高まることが期待されます。

政策金利とインフレ率



※予想はブラジル中央銀行によるエコノミスト調査に基づく

※政策金利の予想は2021年末と2022年末

※インフレ率の予想は2021年7月～2022年12月

※陰影部はブラジル中央銀行によるインフレ目標のレンジ

(出所) ブラジル中央銀行、ブルームバーグ

ブラジル・レアルの対円・対米ドルレート



(出所) ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management